

取扱説明書

サイクルディスプレイ用 自転車アタッチメントフック

No.CS1-A1

このたびは、**KTC** サイクルディスプレイ用自転車アタッチメントフック (No.CS1-A1) をお買上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をより安全・適切にお使いいただく為、この取扱説明書をお読み下さい。取扱説明及び表示の注意事項や使用方法を十分にご理解いただいた上で正しくお使い下さい。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

使用上の注意

使用前に必ずお読み下さい。

⚠️ 警告

- ! 耐荷重（積載重量）は超過しないようお使いください。
・EKS（薄型収納メタルケース）や自転車を掛けるときは片方に片寄らないように中心に掛けてください。
・移動するときは EKS（薄型収納メタルケース）・自転車を降ろし、周囲の安全を確かめてから移動してください。
・本製品にEKS（薄型収納メタルケース）を掛けるだけではなく、本書の記載方法で固定してください。
・固定しない場合、耐荷重（積載可能重量）が著しく低下します。
・定期的にボルト類、アタッチメント類が確実に締め付けられていることを確認してください。
・本製品に掛けている、EKS（薄型収納メタルケース）、自転車のバランスは定期的に点検してください。
・本製品は自立式ですが、振動や地震により転倒する恐れがあります。事故防止のため本書に記載の方法で防止策を施してください。

- 誤った取扱いをした場合、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表します。

- ! 注意 誤った取扱いをした場合、傷害を負う可能性が想定される内容を表します。

- ! 必ずしてほしい行為を表します。

- ! 注意 確認してほしい行為を表します。

使用前に必ずお読み下さい。 本製品に貼ってある表示シールは絶対にはがさないでください。

⚠️ 注意

- ! 本製品の取扱説明及び注意事項をお読みになり、十分理解した上でお使いください。
・本製品を使用する時には、サイクルディスプレイ (No.CS1) の取扱説明書もあわせてお読みください。
・本製品に化学薬品、海水、水分等を付着させないように使用して下さい。
・ボルトやナジの緩みによるガタつきが生じた時は、直ちに締め直してください。
・本製品にEKS（薄型収納メタルケース）、自転車を掛ける時は必ずスタンドのハンドル類を締め込んでから掛けください。
・本製品組立ては平らな場所で行ってください。平坦でない場所で組み立てを行うと転倒しケガをする恐れがあります。
・本製品にヒビ、割れや欠落などの異常を発見した時は、直ちに使用を中止し修理を求める販売店様にご相談ください。

- 本製品は室内または屋内用です。屋外や水のかかる場所では使用しないでください。

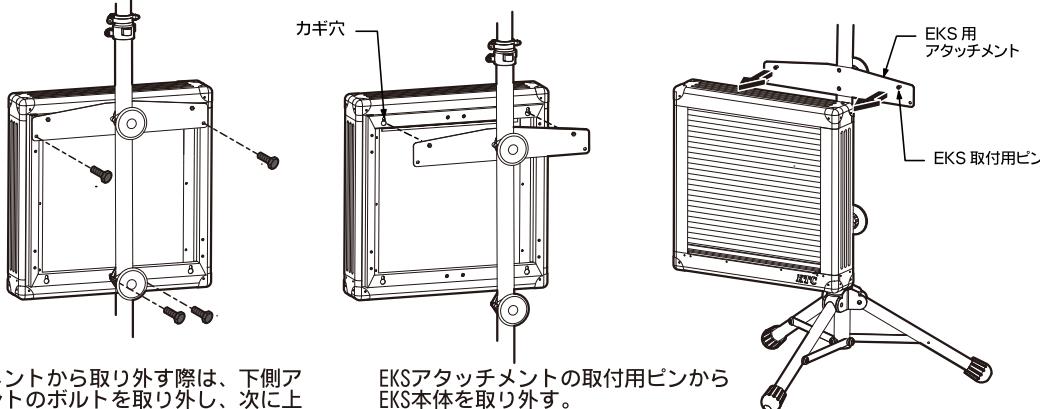
- ・ご購入時以上の分解をしたり、改造はしないで下さい。
・製品によじ登ったり、ぶら下がったり、もたれたり、蹴ったりしないでください。
また小さなお子様を製品の近くで遊ばせないように注意してください。
・耐荷重を超える自転車を載せないでください。
・サイクルディスプレイへは自転車を2台まで掛けることができます。2台以上掛けると転倒しやすくなり大変危険です。

耐荷重 自転車フックアタッチメント

20Kg (EKSを掛けない場合自転車2台まで可能)

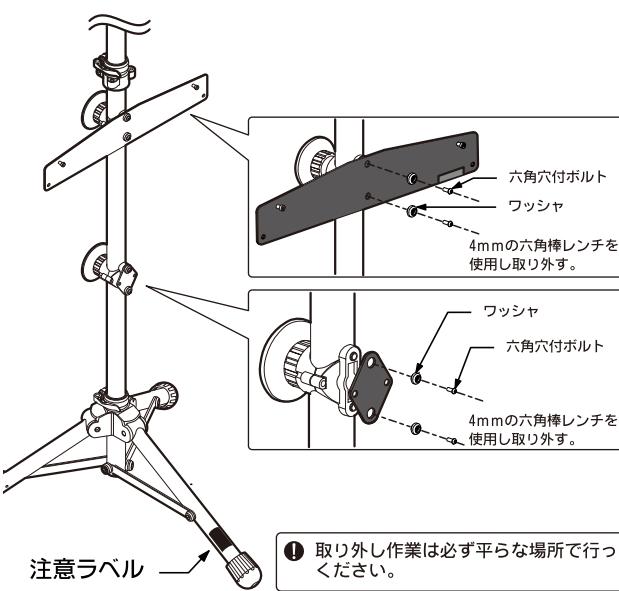
組立て方法

①EKS（薄型収納メタルケース）を取り外す。



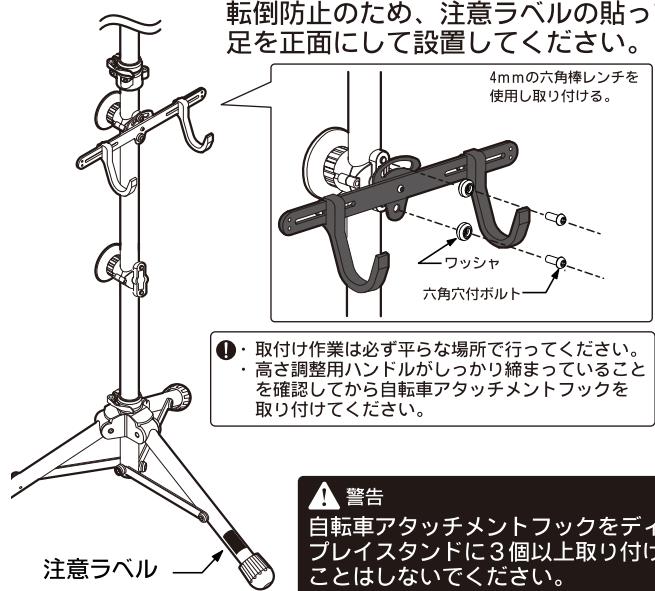
- ! ディスプレイスタンドからEKS（薄型収納メタルケース）を取り外す時には、収納している工具を全て出してから作業を行ってください。
・アタッチメントの六角ボルトを取り外す時にはEKS（薄型収納メタルケース）が落下する恐れがあるので十分に注意をして行ってください。

②EKS（薄型収納メタルケース）アタッチメントを取り外す。



③自転車アタッチメントフックを取り付ける。

転倒防止のため、注意ラベルの貼ってる足を正面にして設置してください。

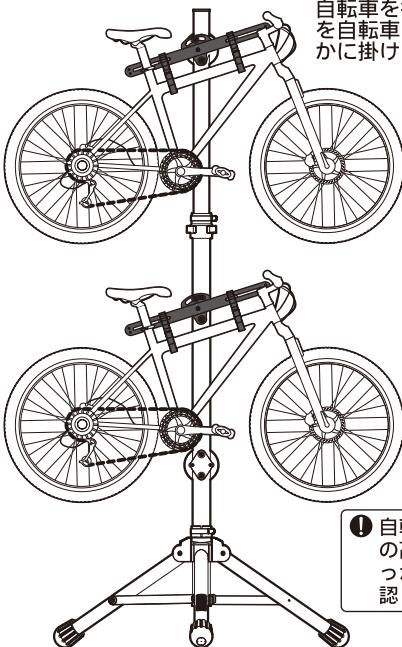


⚠️ 警告

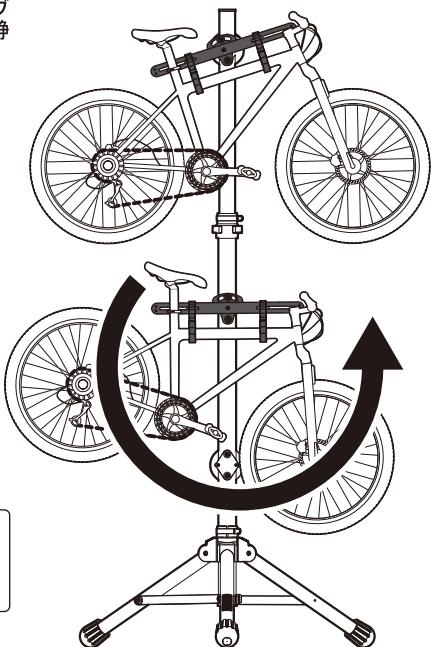
自転車アタッチメントフックをディスプレイスタンドに3個以上取り付けることはしないでください。

④自転車アタッチメントフックに自転車を掛ける。

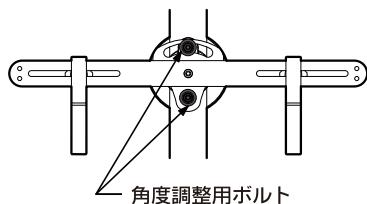
自転車を持ち上げ、トップチューブを自転車アタッチメントフックに静かに掛けます。



自転車アタッチメントフックの高さ調整範用ハンドルがしっかりと締まっていることを確認してください。



自転車のトップチューブが大きく傾いている自転車は自転車アタッチメントフックの角度調整用ボルトを緩め、自転車の前後輪が水平になるように調整して自転車をかけてください。

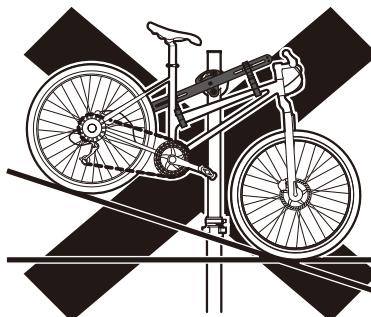
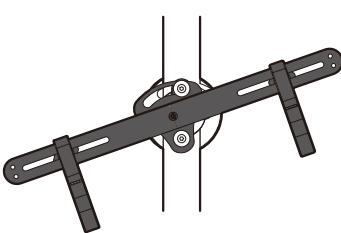


- 自転車アタッチメントフックの調整範囲を超えるような自転車をスタンドに掛けることはしないでください。
- アタッチメントの角度を調整する時は必ず自転車をスタンドから下ろしてから行ってください。

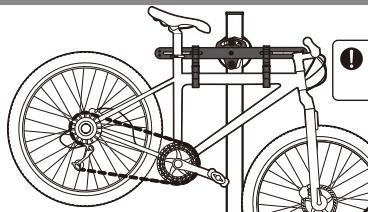
- 角度調整後、角度調整用ボルトがしっかりと締まっていることを確認してから自転車をかけてください。

誤った調整

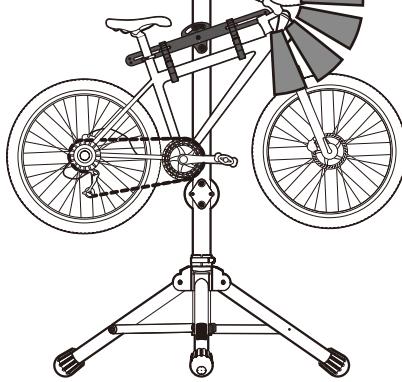
自転車アタッチメントフックの角度調整を最大限に調整しても、自転車の前後輪が水平にならない場合は、その自転車をスタンドに掛けることはしないでください。



このような状態でスタンドに自転車を掛けるとバランスが崩れ大変危険です。



自転車同士がぶつからないようアタッチメントフックを調整してください。



自転車をディスプレイスタンドに上げ下ろしするときはスタンドに掛かっている自転車を降ろしてから行ってください。自転車が掛けた状態で行うと、バランスが崩れ転倒する恐れがあり大変危険です。

- スタンドからの自転車の上げ下ろしは静かに行ってください。

- 注意**
- 自転車を掛ける向きはイラストのように自転車のハンドルが**右**に向くように掛けてください。反対に掛けますとフロントギアがスタンドのポールに当たり傷を着けることがあります。
 - トップチューブにワイヤ類が通っている車種を掛けますと、ワイヤ類がトップチューブとフックに挟まれ、自転車に傷を付ける可能性があります。
 - 自転車をスタンドに掛ける時にハンドルが動き手や指を挟むことがあります。自転車を持ち上げる時には十分に注意してください。
 - 自転車をスタンドに掛ける時にチェーンやタイヤにより衣服を汚す場合がありますのでご注意ください。

製造国：台湾

販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記営業所までお寄せ下さい。

お客様窓口
電話での受付時間は午前9:00～12:00、午後1:00～5:00まで
(土・日・祝日および弊社休業日を除く)
TEL / 0774 (46) 4159 FAX / 0774 (46) 4359
Email support@kyototool.co.jp
KTCコーポレートサイト <http://ktc.co.jp/>
製品情報 <http://ktc.jp/>

支 店 / 東京03(3752)2261/名古屋052(882)6671/近畿0774(46)3711
営業所 / 札幌011(824)0765/仙 台022(231)6322/金沢076(291)4546
/広島082(273)0202/四 国087(869)4474/福岡092(441)5637

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

T60003-0.09.05.KTC